

令和5年度公益社団法人大垣地域シルバー人材センター事業計画

I 基本方針

我が国の総人口は減少傾向にあり、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となる2025年問題は、慢性的な人材不足、医療介護費の増大、現世代の社会保険料負担の増大など、少子化や超高齢化社会によるさまざまな影響が懸念されています。

令和4年度は新型コロナウイルス感染者数が拡大する中でも、ウィズコロナの社会活動が求められましたが、シルバー人材センターにおいては、全国的に会員数の減少という大きな影響を受けました。

このような厳しい状況の中、元気な高齢者が地域社会の課題解決の担い手となって活躍するシルバー人材センターの役割は、ますます重大となってきております。それを踏まえ当センターでは、高齢者が長年培ってきた知識と経験を活かし、いきいきと活躍し続けることができるよう、意欲と能力のある限り年齢に関係なく働ける就業機会の確保に努めてまいります。

また、人手不足の分野や現役世代の下支えを担う労働力提供の役割にも、さらに期待が高まっており、地域ごとの特色や実情を踏まえた積極的な就業機会の開拓・マッチングの取り組みを強化してまいります。

当センターにおいても会員の平均年齢の上昇、企業の定年延長や再雇用、インボイス制度への対応の影響等による会員減少という厳しい状況であり、会員を増やすことが最大の課題となるとともに、高齢者に向いた就業を確保し就業率を向上させることも重要です。役職員が一体となって地域でのPR活動、ひとり会員紹介制度、ゴールド会員の啓発や就業相談にも尽力してまいります。

これからも、会員の皆様のご協力を得て、積極的な事業展開に努め、高齢者にとって魅力ある、地域にとって存在感のあるセンターを目指してまいります。

II 事業実施計画

1.会員拡大の推進

センター事業の拡大のためには、会員の確保が重要課題です。高齢者雇用安定法により60歳代の新規入会会員が減少し会員の平均年齢も上昇しています。加齢により退会する会員も増加しています。シルバー事業の発展のため、退会会員の抑止を図り、会員拡大に取組んでいきます。

- 1) イベント等に合わせたPR活動の推進
- 2) 市・町広報紙への会員募集掲載及び折込み
- 3) ひとり会員紹介制度の周知

- 4) ゴールド会員制度の周知
- 5) 会費減額制度の周知
- 6) 女性会員の加入促進

2.会員の支援

会員の就業機会の拡大を図るために、会員一人ひとりの資質向上、技能の習得また接遇等に重点を置き、会員のスキルアップを資するとともに、会員の意識向上を図りながら積極的な人材育成に取組んでいきます。

- 1) 会員の資質向上（研修会の開催・参加）
- 2) 安全就業・マナー向上のための研修・講習会の開催（剪定、除草、家事援助等）
- 3) 技能講習会参加者への助成
- 4) 未就業者の就業相談の実施
- 5) 就業率の向上
- 6) ホームページ・事務局だよりによる周知・啓発

3.就業機会の確保・拡大

一人でも多くの就業機会の確保ができるよう、企業・家庭・公共団体のニーズの把握に努め、未就業会員の解消と会員の希望と能力に応じた就業機会の拡大に取組んでいきます。昨年同様に、人手不足分野や介護・育児等の現世代を支える分野での開拓にも取組んでいきます。

- 1) 事業所への訪問
- 2) 事業所・家庭向けのリーフレット配布
- 3) 新規事業の検討
- 4) 高齢者に向いた就業確保の検討

4.安全・適正就業の徹底

事故・怪我「ゼロ」に向けて会員、役職員が一体となり安全保護具の着用、防護ネット使用等の徹底を図り、また委員会によるパトロールを強化し、会員全体の安全意識の高揚と安全対策に取組んでいきます。また、安全で適正な就業を推進するためガイドラインを活用して就業の適正化に取組んでいきます。

- 1) 安全就業意識の高揚対策
- 2) 巡回指導の実施
- 3) 機械取扱い講習会の実施
- 4) 交通安全講話の開催
- 5) ガイドラインの周知

5. シルバー派遣事業の推進

労働者派遣事業による就業を確保し、派遣事業の拡大と適正就業の推進に取組んでいきます。

- 1) 派遣事業の事業所開拓
- 2) 会員の教育訓練
- 3) ミスマッチの解消

6. 組織運営体制の強化

組織の充実と活発化を図るなど組織基盤及び財政基盤を強化し、効率的な運営を図り、センターの発展に取組んでいきます。また、職員の研修などによる資質の向上を図るとともに適正配置による事務局体制の強化・充実に取組んでいきます。

- 1) 理事会、各種委員会及び職群班の活性化
- 2) 事務の効率・合理化の推進

7. その他

就業や社会奉仕活動を通じて、地域から信頼されるセンターをめざし地域社会に貢献できるよう積極的に取組んでいきます。また、互助会等で会員相互の親睦を図るなど、魅力あるセンターを目指します。

- 1) 社会奉仕活動の実施
- 2) 会員互助会への支援